

〔参考〕2013年度からのCO₂排出抑制量

2019年度は、2013年度(パリ協定における国の削減目標の基準年)と比較して、
CO₂排出量を**2,640万トン(約50%)低減**しています。

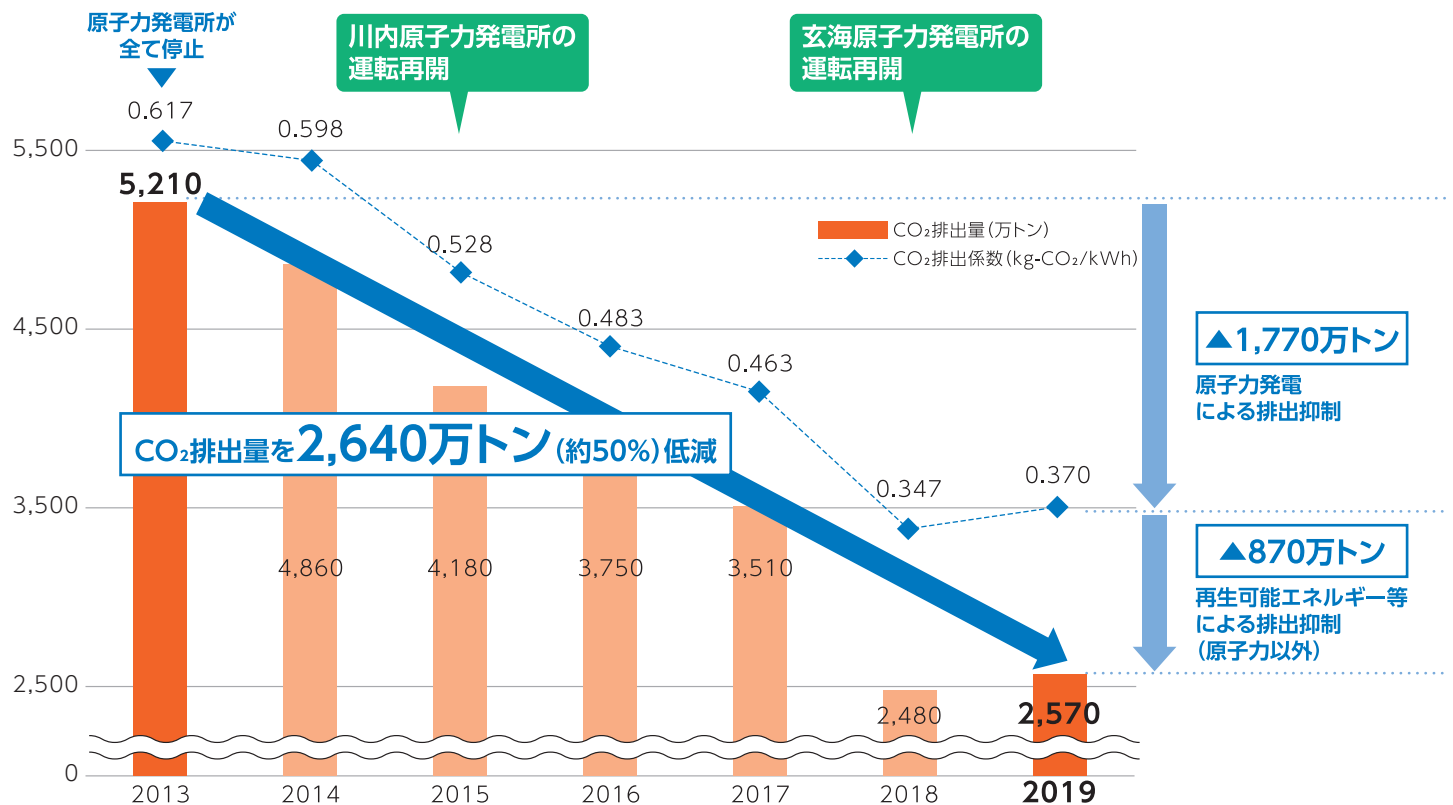
川内・玄海原子力発電所の再稼働により1,770万トン(*1)、
再生可能エネルギー等により870万トン(*2)のCO₂排出抑制に貢献しています。

【排出抑制量(注)の算定方法】

*1 2019年度の原子力による発電電力量に2013年度CO₂排出係数(調整後)を乗じて試算

*2 排出抑制総量(2,640万トン)から(*1)の原子力発電による排出抑制量を差し引いて算出

(注)原子力及び再生可能エネルギーによるCO₂排出抑制量について、それぞれの発電電力量に「2018年度のCO₂排出係数(調整後)」を乗じて試算した場合は、
原子力：約1,000万トン、再生可能エネルギー：約200万トンとなる



菅原バイナリー発電所の
運転開始(地熱)



豊前バイオマス発電所の
運転開始

